

(仮) 豊田市健康づくり運動プラン（第四次）素案に対する意見募集

実施期間：8月14日（月）～8月23日（水）

回答者数：175人

【1】生涯にわたって健康で過ごすために、関心の高いものは次のうちどれですか？（3つまで選択可）

運動・身体活動	138
栄養・食生活	129
休養（睡眠）・こころの健康	108
歯・口の健康	43
タバコの有害性	5
適切な飲酒	4
定期健診（検診）の受診	55
その他（自由記述）	0
関心はない	0

【2】健康づくりに関する情報を集めるためによく利用している媒体は次のうちどれですか？（3つまで選択可）

新聞	59
折込チラシ	10
広報とよた	42
書籍	24
雑誌	14
講演会・研修	15
電車やバスの掲示物	2
地域の掲示板	4
テレビ	74
ラジオ	5
インターネット	110
SNS	24
地域の集まり	3
家族・友人の口コミ	33

【3】市民の健康向上のために市はどのようなことに取り組むべきですか？

健康診断や広報紙などでの情報提供があると良いと思います。
公立の医療機関の規模・内容を物理的に充実させること。
特定健診の受診率のアップに注力すべし。2018年の受診率は36.9%、その後のコロナ感染拡大による受診手控えと云うことを考えれば、現状、大きく改善してるとは思えない。 予防医学の第1歩というべき、健診の受診率アップは喫緊の課題である。
歯の無料健診をお願い致します。
・健康診断やその後の再検査などが全て同じ場所でできたらいいですね。 ・いちいちまた予約とって、違う病院に行くのが面倒。 ・中々いけなくて悪化して後悔ってのがあるから、そういう施設を作って欲しい。 ・トヨタ自動車とか大きな企業は恵まれてるみたいですが…
豊田市内でどのような場所で、どのような運動が出来るのかを事例を交えて発信をする。その場所にちなんだグルメ情報など観光要素も交えて紹介すると行きたくなくなるかもしれません。
市の補助付の定期健診
インターネットでの情報発信、テレビ番組での情報発信
歯科検診の補助制度の充実。子供の歯科矯正にも一部でも補助があると取り組みやすいと思います。親子で参加できる健康作りのイベントの企画は参加しやすいので楽しみにしています。高齢者はアプリの使用やネットでの申込みがネックになっているようなので、ネット以外でも申請ができたほうが良いです。
健康診断をを誰もが受けやすいような取り組み（料金、助成、受診の機会、検診後のフォロー）
実施状況の細かい情報の発信で、より多くの人々が目にできて・興味を持って・参加したくなる内容として発信する。 各区の伝達システムで、市民の一人ひとりが目に届くチラシ配布で情報を提供する。

<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断費用の全額補助（女性特有の健診含む）☒ ・早期発見のための検査の費用一部補助（PET健診、N-noseなど）☒ ・体育館の使用ルールの改善（新しく活動する団体が入る余地が全くない、住んでいる地域に絞ってしか利用できない）☒ ・公園の整備（トイレなどの汚れがひどく使いたくない場所も多数ある、防犯対策が不安）☒ ・市内全域で路上喫煙や車の窓を開けての喫煙を完全禁止にする（いまだに受動喫煙の機会が多く不快に感じる、罰金強化）☒ ・生活苦が続いているためもっと助成金を出すべき（特に子育て世帯へ手厚くするべき、豊田市は他の市町村に比べて全く子育てしやすいとは思わない）☒ ・あいち健康プラスをもっと活用すべき（豊田市民はチャレンジ以外でポイントが貯まらず、利用意欲が削がれる）
イベントを増やす。
子どもに食育をしてほしい。小さい頃に当たり前のように学んで、そのベースが大人になっても影響すると思います。オーガニック給食にしてほしい。
歩く人だけのための道を整備したり、自転車専用道を整備するなど、車を気にせずに歩いたりできる道が欲しい。
豊田市と連携した健康ポイントアプリ導入によって、インセンティブによる健康診断受診率の向上や運動の習慣化等に結び付ける。健康診断データ等を利用した疫学的調査。 下水に含まれるのウイルス量検査から、感染症の流行状況の把握し、情報提供量。 特にコロナウイルス感染症については、関心が高いにもかかわらず流行の状況の情報提供の量が少ない。
新生児の両親や学校に通う子供たちへの食育講座などはとても有益だと思う。 最近物価高で買い控えをし、栄養不足になるお年寄りも多いとニュースで見たので、広報などで注意喚起できたらいいなと感じた。
使われていない公園を集約し、使用可能な健康器具の置かれた大型の公園を整備する。
予約なしで安く利用できる施設があるといい。
高齢の方達は、歩いたり、身体を動かすことが大事だと思うので、歩く事でポイントが貯まれば良いと思う。様々な企業がアプリで歩数カウントしているが、そういうのではなく、病院近くや交流館、図書館などに行くとポイントが貯まるようにすれば、外に出る機会も増え、知識も広まり、人と会う機会も増え、楽しく出掛けれると思います。 また、今も24時間体制で心やからだについて問い合わせ窓口がとよたにもありますが、心の問題でも話をただ聞いて欲しい場合と、心理的であったり、何か解決策が欲しい場合がある為、メールでも構わないのもっと専門的な知識を持った心理カウンセラーがいると良い。解決策が欲しくても、問い合わせる場所がなかったり、たらい回しにであったりと、今までに2回ほどあります。 被害に合わない警察や相談窓口には連絡出来ず、被害に合いそうな前段階ではどこに相談しても、どうするのがより良いのかなどのアドバイスを貰う事ができない。被害にあったからでは、その後の人生において、健康な状態での生活は難しいと思う。 子供であればSNSの事件や高齢者であれば詐欺に関してなど、そういった講座がもっとあれば本当に良いと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・信頼できる健康に関する情報発信（ネット上などでは情報があふれており、正しい情報かの見極めが難しい） ・各世代に応じた健康向上の為の情報発信やデータベース
私は70代ですので、家から出る事が健康の第一歩だと考えております。 大変難しいと思いますが、子どもも親も年寄りも皆んな一緒に遊べる場所があると良いように思います。子どもたちを見るだけで、元気が貰えますから！ 私は同居しておりますので、孫たちとの関係が持てますが、お年寄りだけで住んおられる方々からいつも羨ましいと言われる事が多く有ります。 広報誌などで年齢制限の企画が多く有りますが、保護者だけではなく、見学可能なものがあれば見てみたい！と思う事が有ります。 是非ご検討くださいますよう宜しくお願い致します。
判りやすい、高齢者向けの情報提供。
<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進施設（アスレチック イベント プール など）の拡充 ・上記施設を利用した場合の補助
毎年行われる豊田マラソン大会の市民無償化
暑い時期に気軽に運動出来る施設の提供、子どもが運動出来る機会の提供
近くにスカイホールの様な安く利用出来るジムが有ると嬉しいです。
普段は市に対してこれをやって欲しいとまで思うことはありませんが、産後のサポートはもう少しあっても良いのかと思いました。 精神的に参ってしまうと自らSOSを出しにくく、外出も大変、でもそのままだともっと塞ぎ込んでしまうといった悪循環になってしまいう。またもし虐待があった場合、未就園児の健康状態を把握するのはとても難しいような気がします。 具体的には、市の施設（子育て支援センターや交流館等）や小児科にIDカードのようなものをかざせるようにして全く公共施設や病院の利用がない方には自動でメール案内で近況伺いを送付して、それにも応答がない場合はサポートをする等、何かもう少し介入があっても良いのではと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりのテーマ 一覧表を作り出前案内をする。（既に実施しているかもしれませんが） ・その一覧表を 定期的に地域活動グループに配る又はとよた広報に掲載。
年代別に楽しいイベントを企画してほしい（子連れ、高齢者中心のイベントが多い）
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区の既設のウォーキングマップを利用した、イベント開催(ウォーキング大会)。 ・校区内では交流館祭で毎年募っているが、他の校区のコースも歩くきっかけとなる。
失敗談、成功談の体験発表の啓発活動の複数回実施。

<p>ランニングする人やウォーキングする人が多いので、木陰のある道や歩道を整備してほしい。買い物などの生活のついでに歩くのも健康にいいと思うが、暑すぎて歩けない。 春から秋にかけて暑い日が多く(一年の内半分は)、暑くて昼間出歩くには辛い道が多い。 例えば、市駅からスタジアムや美術館へ行く通りや、トヨタ自動車本社を通る248号線沿いその道や、学校周辺の道路、スーパーなどのある通りを涼しくしてほしい。 この夏、韓国へ行ったが、日本よりも気温は低く涼しく感じるが、温暖化でまちが暑くなっているの、街路樹をたくさん植えているそうです。 ソウルや地方のまちも、街路樹が育ち、木陰のある道が日本よりも多く感じました。街路樹のお陰もあり夏でも歩いて観光しやすかったです。交差点には日除けの parasol を設置してある場所も多く見かけました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・健康フェスタ 身体に関するイベントを開催 ・病院に行かなくても身近に健康雑学というか身体に関する事を学ぶ機会を！
<p>健康はお金で買えない、自らの意識や活動によって得られる、健康を損なってしまうと、後悔しても遅い、自分のまわりの人も含めて、毎日の生活に大きな影響を及ぼすこと、を具体的にアピールして、市民一人ひとりの意識をかえる仕掛けがあるといいです。意識をかえないことには、どんな活動をしても参加しないと思うので。健康に関する活動(市民参加型の活動)は、SDGs カードのポイントと連動していると、より積極的な参加が期待できると思います。高齢者でも参加できるように、アプリ限定しないで、インターネットや紙での参加も可能なようにしてほしい。</p>
<p>今回提示された「豊田市健康づくり運動プラン概要版」を拝見し是非進めて頂きたいと思います。 内容は充実過ぎ・・・？総花的にならないように豊田市の独自性を打ち出し他県の見本になりたいものです。</p>
<p>住民健診や予防接種の助成金</p>
<p>ラジオ体操やおいでん音頭等を全市民が出来るようにしておくと思います。幼児から高齢者迄地域毎に繋がる様に情報を共有してイベントをこども園と自治区と老人会でバラバラでなく同時に実施することが必要です。</p>
<p>定期健診の増進</p>
<p>気楽に安価・無料で使用できる健康・体力確保できる施設を各居住地気に合わせて設置。各市民の年齢・体調に合わせた適切な運動方法の指示。</p>
<p>高速道路の高架下をウォーキング用路にし、天気の良い日も歩けるようにしてほしい。☒ 雨降りに傘をさしあるいは濡れながらも歩いているお年寄りを多々見受ける。☒ その際ネットフェンスの中を歩ければいいと思う。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・フィットネスジムの負担補助。 ・マインリーに歩数計機能を付け、歩数が一定以上いくとポイントが貰える。 ・子供のスポーツの習い事の補助
<p>現在、色々な場所で、色々な活動が行われている様に思います。朝のラジオ体操、ウォーキング、白浜公園での各種大会、地域では健康づくり部会…など。 更に、健康に関する講習会などもあるようですね。もう十分かなと思います。しいて上げれば朝の散歩をされている方達がおられます。その人達を更に増やす為に豊田市〇〇散歩同好会等を作り、市へ登録する。歩行距離を申告してもらい、累積で上位に記念品等をあげる。</p>
<p>無料健診の実施</p>
<p>お年寄りにも負担が少ない動きの太極拳やヨガなどを安く体験出来る教室をもう少し多く開催する。☒ 金額も負担にならないように。☒ また働いている人は平日よりも休みの日にそういう教室を沢山開催してくれると嬉しい。</p>
<p>健康診断の推奨</p>
<p>子供といっしょに遊んだりして、体を動かすのはいいのではないかな☒ 核家族が多いのでなかなか子供といっしょに体を動かす機会もない方も多いと思うので、遊んでいるのを見るだけでも元気になれるから</p>
<p>高齢者向けに太極拳などの運動を推進する</p>
<p>◆市が主催の高齢者向けの健康教室の企画・運営・・・参加者には、chiicaのとよたSDGsポイント付与などの特典で、多くの参加者を募る。ラジオ体操の第1 & 第2で十分です。毎日、やる事がない高齢者には、外に出て社会活動らしきイベントに参加するだけでも健康向上に繋がる。 ◆市が主催の健康ウォーク・・・各公民館が主体で実施。例えば足助地域や松平郷の散歩などを毎月1回、定期的に企画。参加者には、何らかの特典、SDGsポイントなどを付与する。 ◆各病院が主催する健康に関する講話の支援、経費の半分以上を市が負担。テーマは、例えば、1、生活習慣病の改善2、ガンの治療3、带状疱疹の予防4、足腰の運動など。 健康保険料や介護保険料は、仕事を引退し、収入が年金だけの高齢者には、驚くくらい高額です。この金額を減らすためには、市民の健康向上が、医療や介護費用の低減に繋がります。</p>
<p>大きなスタジアムを使って、全員参加のマラソン大会や企業にアピールして、企業別のウォーキング大会、マラソン大会を☒ 企画しても面白いですね。そこに、お年寄り、小さい子供たち、シングルマザー、等のいろんな方を招いて交流を図る。☒ 町をあげてのウォーキング大会等全員が参加できる企画を考えてほしいと思います。</p>
<p>地元のお祭りなどの行事。☒ 面倒だと思うこともあるが、伝統を継承するだけでなく、地域のひとのコミュニケーションの場になる。盆踊りの準備片付けは☒ 体を動かす機会になる。</p>
<p>健康器械を増やして、運動できる場所を増加します</p>
<p>健康の意識を高まる活動を行う</p>
<p>アプリを利用した万歩計機能でポイントが貯まるサービスがあるといいと思います。☒ 体力測定が気軽にできる場所があるとうれしいです。</p>

市民が気軽に参加できる健康増進を目的としたイベント(ウォーキング、マラソン大会など)を企画する。☒ 参加賞や景品を魅力的なものにすれば、参加する人も増え、これをきっかけに健康意識を高めることができるのではないかと思います。
身近で出来る各年齢別の健康プログラム
誰でも気軽に参加できる運動会があると良いですね。
近くでスポーツ教室に通えること
市民運動会みたいなのを開催したら楽しそうだと
広報での定期発信
お金の補助
健康につながる施設の利用料を低額にする。
健康に関するイベントなどを増やしていただきたいです。
地域で開催のセミナーを実施し、映像DATAをWEBなどにて見えるようにして頂きたい。
ウォーキングなど
イベント、公演、講習会の開催
無料の健康診断の充実
ハイキングコースやジョギングコースなどを作成して周知するなど運動するきっかけづくりをする
無料で受けられる身体改善講座
公園などで集まって軽めの運動をするイベントを月1くらいで行う。
気軽に参加できる健康に関する講座を開いてほしい。
小学生に関してですが、部活もなく、温暖化の影響で外で遊ぶこともできず、運動不足が懸念されます。☒ すぐ隣の部活がある市と比べると健康や精神面で差が出来てくると思います。もっと考慮して部活に代わるものを作ってほしい。
ウォーキングイベントなどで子供と楽しめて親達も巻き込んで健康づくりになるものを計画して欲しい。
気軽に参加できるイベント オンラインで参加できるイベント
検診の充実。検診費用の補助(もちろん収入によつての差があっても良いと思います)。積極的に検診を受けた人へのchi iacaポイントの付与など。☒ また、体の健康はもとより、心の健康も大変重要だと感じます。あらゆる悩み事を気軽に専門家に相談できる場所があるといいです。
地域の医療機関と連携し、健康づくりへの取り組みに参加しやすい環境を作る、また取り組みの機会を設ける
運動、睡眠、栄養の指針を提示し、達成した市民に報酬を与える。
健康づくりのイベントの開催
今のままでいい。市から送られるがん健診とか安く、受けさせてもらってます。
強制力のない活動は、あまり効果がないと思う。 たとえば、極端ではあるが生活習慣病による医療費は7割負担にすれば、みんなが気を使って生活すると思う。 もしくは逆に定期健診での健康維持者には、褒賞を与えるなどするといったのかもしれない。
親子、年代を分けて、軽度から高難度など様々な健康に関するイベントを主催されては。☒ ウォーキング、ハイキング、ランニング、体操やヨガ、ピラティスなどなど。☒ そして、平日や休日などあらゆる時間で開催して、ニーズの高かった企画を継続して行う。
ある程度の年代別グループにすれば参加しやすくなるでしょうね。
誰でも参加しやすい講座の開催
自転車に乗る人が多いので、安全に乗れるように道路の整備をしてほしい。気軽の体を動かせる施設や場所があるといいです。
具体的な意見でなくて申し訳ないのですが、他の市で、市民の健康向上のための取り組みを成功させているところがあると思います。その市の取り組みを真似て(もちろん人口等や地形、産業等の違いがあるのでそっくりそのままは難しいと思いますが…)、取り組みめばいいと思います。
健康診断の受診補助はありがたく活用させていただいています。歯科矯正、視力矯正も健康に関することなので子供だけでも無料化の対象にしてほしいです。☒ 健康推進イベントはマイナポイントプレゼントがあれば嬉しいです。☒ 心の健康のために習い事や地域イベント参加でもポイント付与されると嬉しいです。
・小中学生への健康啓発の充実 ・健康診断の質向上
健康向上によるメリットをどんどんアナウンスするとか。

定期的な運動プログラムと検診
無料健康診断の充実
市民参加型のセミナー、講習会の開催 ※自分は大丈夫と思いがちなので、ただ聞くだけでなく、体験型、測定する機会を盛り込んだ内容にしていきたいです。
豊田市も高齢化が進んでいるので若者だけでなく高齢者のための健康向上に取り組みが必要だと思います。☒ そうすれば健康保険や介護保険を使うことなく元気で長生きできると思います。適度な運動や快適な睡眠は大切です。そして口腔ケアの重要性を知り半年に1回歯科で定期検診をしています。心の健康も大切だと思います。
市民の健康醸成のための受け皿づくり（イベント、教室など）
ジムの月額料金補助
無料で参加できるイベント
体育館や運動施設をもっとたくさん整備し利用料金も安く使いやすいものにする。居住地からかなり遠いと利用がためられるので、市街地に運動施設を増やすとよい。☒ ウォーキングやランニングに適した遊歩道を整備するとよい。豊田市は車や大型トラックが多く、移動も車を利用するため歩いている人が少ないので、結果として運動不足な人が多い。
市で施設を考えて頂けると利用しやすいです
公共のジムやプールなどの運動施設をよりたくさん利用してもらうために家からでも混雑情報が確認できたりプールでは今はスマートウィッチが使えないところが多いですが使用可能にするとか☒ 会員登録したら自分の利用履歴を見ることができると運動頑張ってるのが目に見えるので長く続けることができると思う
健康に関する講演会の開催
仕事をしているので基本会社での健康診断をしているが、育休中は市のレディース検診を安く受けられてよかった。☒ ちゃんと広報を読んでいたり、市からの検診チケットを活用していれば最低限のところは十分だと思う。
気軽に参加できるスポーツイベント等を増やして欲しい。
健康向上のメリットを市民にお知らせするのはいかがでしょうか。やらないといけないことは皆知っているとは思いますが、なかなか重い腰が上がらないのが実情だと思います。例えば、医療費と健康向上習慣の相関関係を知らせることで、健康なうちに健康づくりを習慣化していないと、将来、自身の医療費が増えてやりたいこともできず、薬漬けの毎日で負のスパイラルに陥るようなことを実際の豊田市民のデータをもとに教えて上げれるといいなと思います。☒ また、その他にはスカイホールにあるジムをもっと増やすとか、雨天時にもジョギングができるような施設を増やすなどもいいなと思います。よろしくをお願いします。
・健康診断の充実 ・運動施設の充実
車に頼らなくてもいい街づくり☒ 買い物に行くにも、運動できる場所に行くにも車がないと不便☒ バス等を利用して、市内どこでも行けるようになれば自然と歩くようになり、健康につながるのではと思う
王滝渓谷や猿投山、鞍ヶ池などの公園の整備をしていただき利用しやすいように保っていただければと思っています。プールや各運動施設の整備、利用時間の融通等もお願いしたいです。暑い時、雨の時、ウォーキングができる場所が欲しいですね。イベントのご褒美にポイントとかではなく健康診断が無料で受けられるとか、骨密度が無料で測定してもらえ等があっても良いかも。
どのような食生活をするべきかの勉強会。健康のための習慣について考える説明会。
・定期検診の充実。 ・二年に一度のものを、一年単位にする。 ・運動の場を広げる。 ・健康ポイントのようなものを作り。 ・ゴミ袋などの景品と交換にする。 ・無料検診を増やす。
啓蒙啓発、情報提供に尽きる。
運動ができる公共の場を提供したり、講座を開いたり
民間のジム
フレイル検診を広めて多くの人に受診してもらい、継続してもらう。受信料を出来れば無料にしてほしい。
運動や栄養に関する講座開催
健康関係催事情報発信を広報等の情報誌を使い全市民に浸透出来るようにすることが必要 掲載するのではなく単発の資料が理想、広報に折り込む等 情報不足がちな高齢者迄浸透させる事が懸命
健康増進のイベントをやる。

地域医療の質向上。
広報とよたによく載っている体験イベントや講座が大変役立つと思います。☒ そもそも広報とよたを読まない人は、新聞も読まないだろうし、そういう人は豊田市HPやネット広告などでアピールしても市役所の活動に関心がない人が多いかと思うので、高額なイベントや広告を行っても参加者の大幅アップにはならないと思います。☒ 自主的に運動したり改善する取り組みをするのが面倒で、健康にあまり関心のない人もいますし。
定期健診等を面倒だと思う人も周りにいるので、ぜひ全員受診してほしいです。☒ 手軽に予約が取れるようなサイトがあると気軽に申し込めると思います。

【4】ご意見があればお聞かせください。（計画概要版）

具体的でわかりやすい施策が見えてこない。また、実施については、地域への丸投げ感が強い。
コロナ感染が5類という新ステージへの移行になり、色々な規制も解除され、日常が戻りつつある。もうすぐ団塊の世代がすべて後期高齢者になり、その先には市民の1/4が高齢者という時代が来る。 市には高齢者対策として1. 認知症予防(健康教室、趣味の集い)2. 一人暮らしの方への見守りシステムなど、積極的に取り組んで欲しい。
ICTの活用レベルが弱い印象を受けました。市内の大きな病院では健康診断がインターネットで完結できず、電話とFAXで予約を取らなければならないので、改善してほしい。健康に関するイベントは出来るだけ開催状況をオープンにして、ネットで気軽に申し込みができるようにすると、若い年代の参加率も上がるのではないのでしょうか。
よくまとめられていると思います。
具体的な行動の日程感がわからない
豊田市は、学校や地域ぐるみの健康作りの企画があるので、親子で健康や運動を意識しやすく良いと思います。☒ 大学や企業のサポートを受けながら、子供がスポーツを体験したり、興味を持ってくれるような企画が継続してあると嬉しいです。
様々な取り組みを期待しております
2029年(6年)の長いスパンである為、想像力が及ばない状況ですが、あらゆる角度からの取り組みは大切と考えます。
5ページの主な取組が書かれていますが、はじめて知る活動もあり、内容を詳しく知る機会がほしい。(広報などでわかりやすく)案を作っても、詳しくない人はよくわからないままで何も変わらないと思う。いろんな活動はありますが、知ったら変わる人、救われる人がいると思うので、よろしくお願いします。
市の検診に歯科検診同様に眼科検診も加えてほしい。
下記内容が含まれるとさらに良い。地域の大型病院と連携した健康の疫学的調査の実施。感染症の状況をリアルタイムに発信できるシステムの構築
施策メニューに健診、保健指導の推進とありましたが実際に健診を受けてみると結果が大雑把だったり、受けたい項目が無かったりする。
評価の判断でセミナー等の実施回数をあげられており、それも重要だと思いますが、さらに参加人数の比較も入れることが重要だと思います。
中学校区ごとにあるスポーツクラブだけでなく、市内にある民間のスポーツクラブやジムとも連携できるプランを考えてほしいと思います。
これは、誰が読む資料なのでしょう？ 市民が読む資料でしょうか？ 広報に入ったりする資料なのでしょう？ その辺がよく分かりませんでした。 もし、そうであるならば、もう少し、読みやすいように変えた方が良いかと思いました。
豊田市健康づくり運動プラン(第四次)素案の中に、学校や会社など社会に出られていない家などにこもった若者の健康に関する事が触れられておらず、若年性成人病等が懸念されます。健診などを受ける機会も無いので勤めていれば、定期健診が義務化されているが、そうしたシステムから漏れた人にも目を向けて頂きたい。 40歳以上になれば、節目年齢で市の補助で健診等の機会が有るので、対象年齢を引き下げれば中高年の基礎体力維持・向上への啓発(将来の介護予防)
自殺者が多い事に驚きました。
能書きは結構だと思います。
5ページ目の内容が6ページ以降にうまく繋がってなく、分かりにくい。
薬物依存症は「強すぎる快楽」のみによって引き起こされるわけではないと近年では考えられていると書籍で読みました。(危険薬物を一回経験しただけで依存症になる人はあまりいない) 薬物乱用防止策として「ダメ。ゼッタイ。」という文脈で語るより、薬物依存の根本にある<なんらかの苦痛>との向き合い方を考えていくべきだと思いました。
具体的に健康の底上げに繋がる気があまりしません。愛知は野菜の消費量が少ないようですが、野菜が嫌いなのか、外出時含めて野菜が高価で買い控えているのか、野菜の必要性を感じていないのかにより、対策も変わってくるのではと思います。
アプリ等知らない取組が色々あるなと思いました。 知らなくて活用していない物が多々有ると感じます。
小学生の子どもが夏休みのラジオ体操でたべまるの体操と合わせて栄養のお話を聞かせてもらえたようで、家でも主菜がどれで…といったことに興味を持ってくれるようになりました。 重点取り組み1の意識向上はとても大切なことだと思いますので、個人個人の意識が高まり、それにより自発的に健康について考えられるようになると良いと思いました。

オンライン講座は、いいと思います。
市民の意見が中々反映される機会が少ないので、アンケート調査を通じて幅広く実施して欲しい。
一人暮らしが増えてきていることを勘案すると、個人で取り組む内容が充実していると、誰でも気軽に参加できるので、健康につながると感じました。コミュニケーションをとって楽しく参加することも重要で大切だと思いますが、グループでの参加を条件とすることで、活動をやめてしまっては残念な結果になってしまうので・・・
◆基本理念 まちぐるみ 心とからだの 健康づくり ～元気な未来 ずっとキラキラ～は素晴らしいです！ 私自身は「自身と家族の生活基盤を守る！」が理念です。 ◆基本指標 1～4の他に介護、医療費の改善 ・自治区、交流館等の活動状況は把握できませんか？ ◆活動促進 ・参加者へのポイント付与等は出来ませんか？ (例) 数年前シルバー事業のリサイクルステーション勤務をしていた時、まだペットボトルの自動つぶし機が設置されていて、利用すると個数に応じてエコポイントが付与されていました、いつも親子連れで行列が出来るほどでした。 ◆地域等との連携 わくわく事業(健康づくり関連事業)は良いと思います、交流館等で行われる ヨガ、ダンス等は月謝など必要となるので、指導者への補助金支給等で無料、安価になれば・・・ ◆その他 今年春先からプールの利用で70歳以上と高校生までの無料化は大変ありがたく思っています！
実施までこぎつける事が大事。☒ どうやったら参加して貰えるか、方法が欲しい。
心身ともに健康を保つように色々な取組を検討せられていてよいと思います。☒ どの様に市民に告知していくのか、各市民の健康に対する意識向上へのきっかけとしてどのようなことがあるのか・どこで何をやっているのか知らない方も多いのではないかと感じます。
病は気からと言われてます。☒ 高齢者にメンタルが良くない人がかなりの数いる様な気がします。☒ 高齢者のメンタルを防ぐ対策も考慮して頂ければと思う
特にありません
認知症の早期発見のため脳ドックの助成の実施
資料にもあるように、一人一人が意識を高める事が大切だと思うので、地道に何度も同じ事を繰り返し教育するしかないのだと思います。☒ めんどくさいと思っしまい、楽な方へ逃げる人の方が多いのが現実です。
特にありません。
健康づくり運動プランは、外部へ委託するのではなく、市役所の担当者が中心になり、ボランティアを募って活動をお願いしたい。外部委託先は、責任や使命感が欠如している事が多く、市民の税金がムダに。☒ 外部委託するのではなく、日本有数の高額所得の豊田市職員には、所得に相応の仕事をして貰うべきです。☒ 市民の健康づくりは、多くの市民に普及させるため草の根運動が必要です。
健康づくり、それは身体心が癒される活動に参加した人は、もっとSDディーズポイントを差し替えてはいかがでしょうか？
よかったですと思います
市として多くのことを取り組んでいて良いと思いましたが、実際に利用している人がどれだけいるのか疑問でした。☒ 多くの人に情報を周知すると同時に利用しやすいようになるのいいと思いました。
各年代に合わせた取り組みで、手厚いと思いました。
自殺対策とあったが、心のケア中心で根本的な解決にはなっていないとも感じる。☒ ケア面も必要だが、直接的に原因を分析して、その対策も講じるべきではないか？少なくともそこが明確になっていないとどこまでいっても後手後手にしかならないのでは
自殺死亡率の低下を目標に掲げるほど自殺者数が多いということを初めて知った。
色々な機関と協力し合うのはとても素晴らしいと思います
いろいろなプランがあることがわかりました。でも、やはり健康に意識のある人が、結局は、自分からこのプランに興味を持って関わっていくことになるので、興味のない人も自然にこのプランに関わっていけるようにした方がいいと思う。希望する学校とか親子教室とか健康アプリとかでは、結局興味のある人にしか意味がないと思う。
施策が沢山書かれていて具体性があると思いますが、目玉が欲しいなあと感じました。
施策メニューなど、具体的に知る機会が少ないと感じています。☒ 参加型で健康づくりができる機会が増えると嬉しいです。
動画等を活用したサイトを作ってみては？
イベントを身近な地域ごとで参加
目標値が掲載されている点は、いいと思うが、例えば、ライザップが急速に伸びたような、魅力的な対策があると、より望ましい。
民間事業者や社会福祉協議会による啓発は良いと思う。民生委員や地域の人というのは近すぎて相談することに躊躇する。☒ 若い年代の人が「個、プライバシー」を重く見る傾向が強まっていると感じる。☒ 年代によりアプローチを変えることも考えたほうがいいなと思う。
「健康アプリを活用した健康づくり」に興味があります。アプリを通じてポイントがもらえるとか、地元のお店、飲食店で使えるなど、うれしいことやお得なことがあると参加しやすいと思います。

街全体で健康に取り組むのは素晴らしいと思う。もっと市民が参加できる講座があればなお良い。
このようなプランがあることを知りませんでした。広報とよたなどでもっと周知して欲しいです。
色んな年齢に向けて計画されているのが良いと思います。
豊田市外に住む人への観光補助する予算があるのなら、もっと市民への健康増進へ予算を回すべき。
ぜひ、いろんな人が興味を抱き、参加したくなる取り組みを実現させてください。☒ Q1の回答で「タバコの有害性」を上げました。喫煙者本人の健康は重要ですが、深刻なのは喫煙者がタバコを吸うことによる周りの人への害を喫煙者本人が意識していないことが多い、ということです。「自分は大丈夫」ではなく「周りの人の健康に害を与えている」という意識を持たせるための活動を実施してほしいと強く願います。☒ このような禁煙活動を進めるうえでありがたいのは、活動すべき側に喫煙者がいて、活動に圧力をかけて阻止することです。豊田市はどうでしょうか。
毎日汗が出るまで体を動かす習慣を付ける事を推奨する
今の社会に求められる健康という概念が網羅されていて良い。
Q3と同じ
若者向けの対策と高齢者向けの対策は違ってくると思います。自殺対策ならどんな理由で自殺をするのか、悩みや不安を少しでも取り除くことが必要ですし、うつ病などの精神的な病気を持つ人に対する援助が必要だと思います。若者も高齢者も経済的な問題を抱えている場合もあります。高齢者の健康寿命を延ばすためには、動けるうちにサービスなどで体を動かす機会を作る方がいいと思います。積極的に歩いたり、ゲートボールなどを行っている人もいますが、動けなくなると寝たきりになってしまうので、どのようなことができるかが課題だと思います。
カタカナ語が多くて、分かったような分からない点がある。「アウトリーチ」、「健康づくりの場へのコーディネート」、☒ 「ゲートキーパー」、「地域資源マップ」・・・
心身共に健康で過ごせるように一人一人が意識できるようになってくれると思います。
資料で様々な取り組みが羅列表記されていますが、これまで馴染みのない取り組みばかりで、市民に活動が浸透していないように思われます。トヨタ健保の取り組みは、案内も目につきやすく、家族で取り組みやすいようになっているので、参考になさるとよいと思います。
病は気からというように、まずは、精神、心の状態を整える事が大事であると思います。ここに重点を置いたプランにもう少しシフトした方がいいと思います。
関わりやすい取組みになると良いと思います。
健康作りのアプリがあるとは知らなかった。もっと広報活動をするとういと思う。☒ 健康教室やスポーツ教室も、一部の人だけでなく多くの市民が利用出来るよう、定員や回数など増やすとよい。
コロナ禍から始まったのかもしれないがオンラインの講座は良いと思う。できればZoomなどの決まった時間での開催で質疑応答ができるタイプが何回か開催されるといいと思う。 意外といつでも受講できるYoutubeは見ないので。
こんなに色々とプランがあると知らなかった。折角なのでもっと周知させた方がいいと思う。
関心を高める、取組を持続する、輪を広げるという基本目標の元、さまざまな幅広い取り組みを掲げられており、とてもいいと思いました。ただ、高齢の方や課題を抱えている人向けの内容が多いようにも思いますので、現在健康向上に取り組んでいる人向けの施策もあるといいなと思います。底上げより活動している人をより高みに引っ張ることで、それらの方がインフルエンサーになって、周りも変わっていくことが期待できると思います。
コロナがはやったころ、近所の広場で遊ぶ子供が増えました。以前はあまり見かけなかったのに、と思ったことがあります。見たところ、スポーツをやりたいようで、サッカーなどをやっていたようです。大人があれこれ言わなくても、体を動かしたい子はできる場所へ行く。大人は子供が気軽にスポーツなどをできるように考えてやらなければならない。安全にも配慮があるので、気を配ることはあるでしょうけれど、環境整備は重要です。大人は自分のことは自分で考えて、できることをすればいいけれど、子供のことは大人が考えてやらなければならないと思います。
運動する場所を広げる。スタジアムみたいなところに、無料ジムを作る。 公園などにも、健康器具をつくる。
特にありません。
健康作りに興味のない人や忙しい人でも参加しやすい工夫をしたほうが良い。ポイントがもらえるイベントがあるとよい。
健康って一言で言えるが、実際は個々の健康意識レベルがどれだけあるかがバロメータとなるのではないのでしょうか健康づくりプランでさらなる健康意識向上に繋がれば良いことと思う
子供たちの心身の健康を謳うのであれば教職員の意識や質の改善が急務であるとする。昔から閉鎖的空間である学校内では社会的に罪に問われてもおかしくないような、常識では考えられないような、様々な“異常行為”が日常的に行われている。それを自治体、教育委員会は揉み消したり知らぬ存ぜぬを通すのではなく正しく把握し正しく迅速に対処、処罰していくべきである。
私は健康づくりや運動が好きなのでチャンスがあれば参加したいし、子供達にも参加させたいです。☒ 主人は上記に書いたタイプの、豊田市の取り組みにも自主的な健康づくりに関心が全くない人なので、どんな形でアピールしたり勧めても参加しないと思います。

【5】 ご意見があればお聞かせください。（スローガン）

1については良いと思うが、健康との直結感があまりないように思う。☒ 2については、意味が全く分からない。

<p>何もかも英語にすれば良いというわけではない アンバサダーと云ってもわかる人は少ない。 健康アンバサダー(大使)とダブルネームにした方が収まりも良い。</p>
<p>特に問題はありますが、インパクトはありません。</p>
<p>1のスローガンですが。お得意のWe Loveとよた・・・で良いと思います。</p>
<p>「プラス10」のキャッチフレーズはよいが、具体的な量も示して欲しい。 (現状でも満足している人もいると考えている。)</p>
<p>各世代ごとの取り組む内容がわかりやすく良いと思います。高齢者が注目するような取り組みをネットやアプリだけでなく、広報や地区の掲示板情報誌にも掲載があると良いのでは。</p>
<p>プラス10は、例を見るとちょっとかんばってみようかなと思えるスローガンに感じます。アンバサダーは、単語自体の意味が、あらゆる世代に分かるのかどうか気になります</p>
<p>どのスローガンでも、それぞれで有意義であると考えます。 進行していく中で、いくらでも時代に相応した内容に修正して行けばよいことと考えます。</p>
<p>とよた健康プラス10、やってみたいです。☑ いつもやっているストレッチを10分多くやってみようかなと思いました。</p>
<p>なかなかいいスローガンだと思う。☑ 「プラス10」のキャンペーンとかあれば、参加してみたい。</p>
<p>通勤で電車を使用していると自殺する人が多いように感じる。精神的な健康を訴えるスローガンがある良い。</p>
<p>「プラス10」というわかり易いスローガンで、具体的な10分長く歩く・・・といったことを目標に掲げられるので良いと思います。</p>
<p>スローガン募集を小学校にかけたりすると面白いのが出てきたり、認知もされやすくなると思いました。</p>
<p>良いと思います</p>
<p>無知な私は、アンバサダーの意味がわからない為、調べました。</p>
<p>スローガンをどう活用するのかが、分かりにくい。</p>
<p>プラス10は良いと思います。☑ 健康アンバサダーは情報を伝え合う中で、正しい情報がきちんとリレー出来るかが少し心配です。</p>
<p>プラス10は分かりやすく良いと思います。</p>
<p>1つ目の方は、いまいちピンと来ない。これを見て何かをより多く頑張ろうとは思わない。 アプリで健康行動をするとポイントが貯まってお店や病院で使える等の旨みがあれば頑張ろうかなという気持ちになるかもしれない。 2つ目の方は、子供が居る世帯には子供から親に話が伝わるかもしれないが、単身世帯には情報が伝わりづらいかなと思いました。 健康に興味のない人は自分から情報を拾いにくいかなと思います。 民間事業者がというのは、近隣の住民にチラシ等でお知らせしてくれれば興味があれば参加したいかなと思うと思います。</p>
<p>市民募集で公募した方が良い。</p>
<p>「プラス10」は、イイナと思いました。無理ない範囲で参加できるので。まずは参加して、やってみることで、プラス10以上の効果が期待できるのではないのでしょうか。</p>
<p>取り組む個人の具体的な行動目標が良い、私は「とよた健康プラス10」が良い、但しわかり易くするなら『もうちょっと頑張ってみるか?』のニュアンスを入れて「とよた健康チョコットプラス10」が良い・・・</p>
<p>カタカナの分かりにくいことはなじみません。アバター等。みんなまとめて元気になろう、位の簡単な解りやすいスローガンが良いかと。</p>
<p>とよた健康プラス10活動良いと思います。自己申告になるかと思いますが、実施したら何か嬉しいこと・励みになることがあるとよいかと思います。</p>
<p>ウォーキングで「プラス10分」長く歩こうとありますが、「10分速足で歩こう」を追加して頂きたい</p>
<p>スローガンとしてはいいと思いますが これらを実施するにあたり 言葉だけにしない様にしたいですね とよた健康プラス10 健康アンバサダー(大使?) すばらしい取り組みですから</p>
<p>お年寄りにも認識してもらう為には、横文字(カタカナ)よりも和風の言葉にした方が分かりやすいかもしれません。☑ アンバサダーの意味がわからない人が多いかも?</p>
<p>特にありません。</p>
<p>アンバサダーという言葉が、少しわかりにくいかなあと思いました。</p>
<p>「今日も明るく、元気よく豊田」</p>
<p>とよた健康プラス10は見た事がありました。</p>
<p>健康アンバサダーという言い回しがちょっと分かりづらいので変えた方がいいかも、と思いました。</p>
<p>とよた健康プラス10の方が、行動が伴うので分かりやすいと思います。</p>

健康プラス10はキャッチーで分かりやすく良いと思う☒ 目標を継続するためにどうしていくか、活動に繋がると良いと思う
二つともあまり響かなかった。
とくにありません。
ちょっと軽い感じがしました。☒ かわいい感じなので、どこかの小さな健康イベントと変わらない感じがしました。もっと大きなプランなので、もう少し品の高いものの方が、このプランの想いのようなものが伝わると思います。
特になし。
プラス10。良いなと思いました。
わかりやすいと思います。
1はわかりやすくてよい 2はアンバサダーもよいですが、自分が主体で自分に落とし込むような言葉があるといいなと思う。内容はわかりやすくてよいです
体の健康は心の健康というシンプルだが伝わるのが良い。
スローガンについても初めて目にしました。どのような人を対象にスローガンを作成したのかもよくわかりません。
とてもわかりやすくていいと思います。
良いと思います。後はこのスローガンをどのような形で展開するかが重要だと思います。☒ 見たときに「ふーん」で終わってしまうような気がします。「ちょっとやってみよう」と思わせる工夫があるといいですね。
正しい運動・栄養・睡眠を実行する
簡潔で、よいと思います。
Q3と同じ
プラス10はわかりやすくて良いと思う
とよた健康プラス宣言 宣言があった方が良い 「(仮)健康アンバサダー」 カタカナ語はやめたい
各自が思い描くスローガン作成はとても良いと思います。
もっとインパクトのあるスローガンでも良かった
健康に関する正しい知識の講座があれば、受けてみたいと思った。アンバサダーは良いと思う。
・スクワットを「プラス10回」がんばろう ・咀嚼回数を「プラス10回」増やそう ・「プラス10回」は、丁度良い回数ですね
スローガンにしては、インパクトがない
とよた健康プラス10はいいと思う。アンバサダーはみな知っている言葉かが心配。
とよた健康プラス10、誰もがみんな「(仮)健康アンバサダー」どちらも興味を引くいいスローガンだと思います。ただ、上記のQ4の「(仮)豊田市健康づくり運動プラン(第四次)概要版【素案】」との関係がよくわかりませんが、連携されているように思いますが、絡めて取り組みを立案していただけるといいと思います。
もっと短く、子供の気持ちも引き付ける言葉だといいと思います。
分かりやすいスローガンがいい。
各個人が勉強して、気づいて、行動を変えて、自分の周りの人を巻き込む、この繰り返しが大切なので、よいスローガンだと思います。
分かりやすくて良かった。無理なく続けられそう。
プラス10は取り組む内容によっては多いと思う。
アンバサダーの取組みが面白そうです
とても良いと思います。
スローガンやイベント名称は、あまり聞き馴染みのないカタカナや英語はやめた方がいいです。☒ 私達世代でもSDGsとかマニフェストとか話題になった時に、分からず調べたり拒否反応が出たので、高齢者はもっと苦手だしスマホで調べたりしないので、カッコよさや今時の…ではなく、子供から高齢者まで理解しやすい言葉がよいと思います。